

- |  |
|--|
| <p>1 調査名称：都市交通社会実験の検討<br/>(彦根城周辺パーク・アンド・バスライド社会実験検討)</p> |
|--|

2 調査主体：彦根市

3 調査圏域：彦根市管内（彦根 IC～彦根城周辺）

4 調査期間：平成 29 年度～平成 31 年度

5 調査概要：

彦根市では彦根城を主体とした歴史都市として多くの観光客を迎えている。特に、観光シーズンにおいては、彦根 IC から彦根城周辺にかけて交通渋滞が激しく、市民生活にも支障を来している状況にある。

また、本市においても今後、人口減少社会に転換し少子高齢化社会はさらに厳しくなることを予想しており、公共交通の重要性を認識し、自動車交通からの転換を目指しているところである。

さらに、平成 36 年度には滋賀県において第 79 回国民スポーツ大会※と第 24 回全国障害者スポーツ大会の開催が予定されており、その主会場が彦根市となっていることから、交通渋滞の課題はより大きくなることが懸念されている。

(※2023 年から「国民体育大会」は「国民スポーツ大会」に名称が変更される)

このような課題の解決に向けて、平成 28 年度には彦根市都市交通マスタープランを策定したところであり、重点戦略に位置付けている「パーク・アンド・バスライド駐車場の新設および彦根城周辺を結ぶシャトルバスの運行」（以下「パーク・アンド・バスライド」または「P&BR」という場合がある。）について、効果的な実施形態を検討するため、平成 29 年度の社会実験（プレ実験）に引続き社会実験を実施し、本格実施への検討資料としたいと考えている。

については、平成 29 年度のプレ実験に引き続き社会実験に取り組むものである。

## I 調査概要

- 1 調査名称：都市交通社会実験の検討  
(彦根城周辺パーク・アンド・バスライド社会実験検討)
  
- 2 報告書目次
  1. 調査概要
    - 1-1 調査名称
    - 1-2 調査の対象
    - 1-3 調査期間
    - 1-4 調査の目的
    - 1-5 実施方針
    - 1-6 調査フロー
  2. 調査概要
    - 2-1 平成 30 年度および平成 31 年度社会実験の全体基本方針
    - 2-2 導入効果と社会実験の目的
    - 2-3 効果検証手法
    - 2-4 周知・PR 手法の立案
  3. 平成 30 年度社会実験の企画
    - 3-1 社会実験の実施内容
    - 3-2 関係機関との事前協議資料の作成
    - 3-3 社会実験バスの運行計画
    - 3-4 周知・広告物の作成、設置・配布およびその実施方法
    - 3-5 アンケート・ヒアリング計画
    - 3-6 バス発着場の安全対策、彦根 IC での誘導案内等
  4. 平成 30 年度社会実験の実施結果、とりまとめ
    - 4-1 利用状況および実施結果
    - 4-2 実施結果のとりまとめと今後の課題の整理
    - 4-3 今後の予定、対応方策および社会実験実施計画（素案）
  5. 協議会経緯

## 資料編

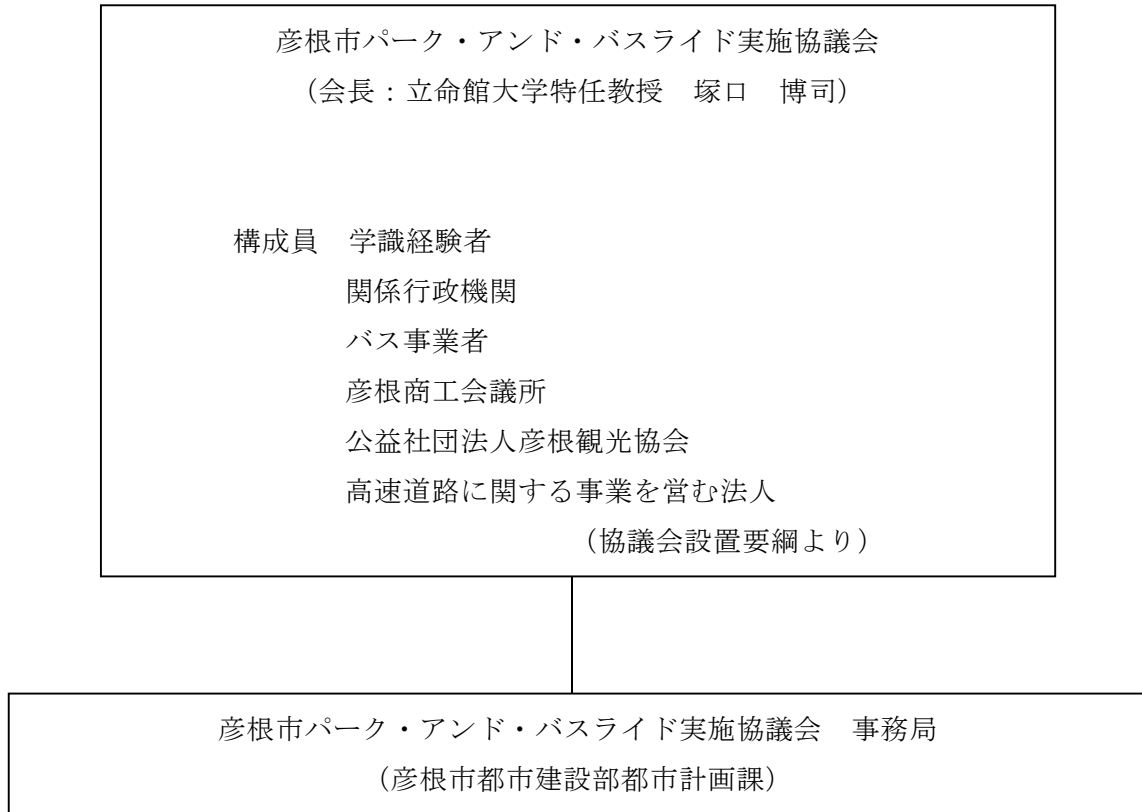
- 1 交通量、アンケート調査計画書
- 2 道路の使用許可申請書
- 3 看板取付工事完了報告書
- 4 アンケート調査結果報告書
- 5 交通量等調査結果報告書

## 協議会資料

社会実験結果概要版

社会実験状況写真

### 3 調査体制



4 委員会名簿等：

彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会委員名簿

委員 11 名

番号	選出区分	氏名	職	備考
1	学識経験者（3名）	塚口 博司	立命館大学理工学部 都市システム工学科 特任教授	会長
2		轟 慎一	滋賀県立大学環境科学部 環境建築デザイン学科 准教授	
3		林 宰司	滋賀県立大学環境科学部 環境政策・計画学科 准教授	
4	関係行政機関（4名）	安井 茂信	国土交通省近畿地方整備局 滋賀国道事務所 計画課長	
5		道久 聡	国土交通省近畿運輸局 滋賀運輸支局企画輸送・監査部門 首席運輸企画専門官	
6		平松 良哉	滋賀県湖東土木事務所 所長	
7		山口 隆	彦根警察署 交通課長	
8	バス事業者（1名）	北村 真治	湖国バス株式会社 取締役業務部長	
9	彦根商工会議所（1名）	志賀谷 光弘	彦根商工会議所 専務理事	
10	公益社団法人彦根観光協会（1名）	馬場 稔	彦根観光協会 専務理事	
11	高速道路に関する事業を営む法人（1名）	大市 博文	中日本高速道路株式会社 （NEXCO 中日本） 名古屋支社彦根保全・サービスセン ター 総務企画（企画）担当課長	

## II 調査成果

### 1 調査目的

本市では、観光シーズンにおいて彦根 IC から彦根城周辺にかけて交通渋滞が激しく、市民生活にも支障を来している状況にあるが、平成 36(2024)年には彦根城に隣接する（仮称）彦根総合運動公園（現在の彦根総合運動場）において、第 79 回国民スポーツ大会※と第 24 回全国障害者スポーツ大会が主会場として開催されることから、交通渋滞の課題はより大きくなることが懸念されている。

（※2023 年から「国民体育大会」は「国民スポーツ大会」に名称が変更される）

このような課題の解決に向けて、本市では彦根市都市交通マスタープランを策定したところであり、その重点戦略である「パーク・アンド・バスライド駐車場の新設および彦根城周辺を結ぶシャトルバスの運行」（以下「パーク・アンド・バスライド」または「P&BR」という場合がある。）について、効果的な実施形態を検討するため、平成 29 年度の社会実験（プレ実験）に引続き社会実験を実施する。

## 2 調査フロー



### 3 調査圏域図

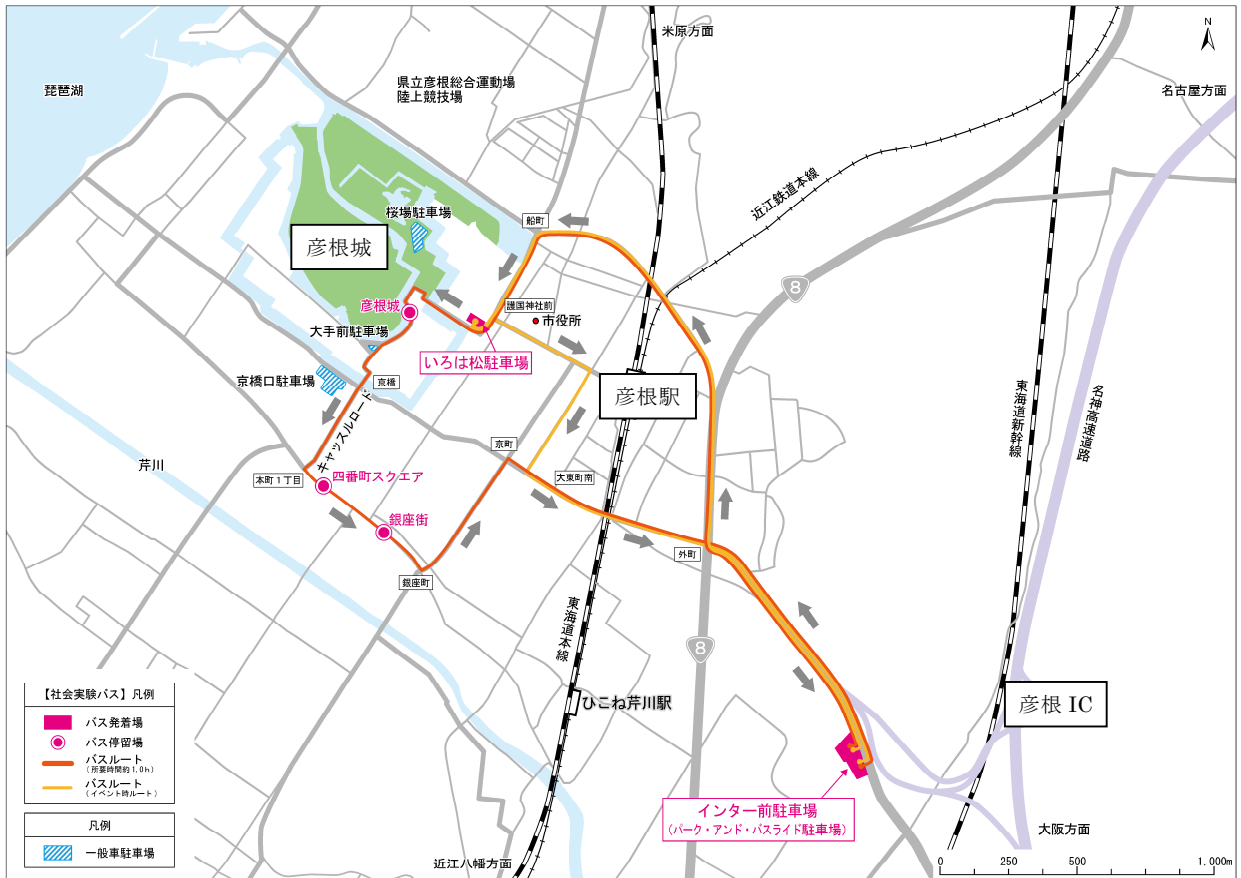


図. 概要位置図



## 4 調査成果

### 4-1 社会実験の概要

■当パーク・アンド・バスライドについて  
彦根インターチェンジから彦根城までの慢性的な交通渋滞の緩和や観光客の周遊等を目的に、自家用車から専用バスに乗り換えて目的地まで向かう「パーク・アンド・バスライド社会実験」を2年目の社会実験として実施した。



#### パーク・アンド・バスライドとは

マイカーを専用駐車場に停め、専用バスに乗り換えて目的地まで向かうことをいう。

#### 実施のメリットは

利用者にとっては、混雑する可能性の高い道路はバスに乗り、彦根城など目的地側での駐車場探しや、入庫待ちの心配等を解消することができます。また、地域にとっては、これらの“うろつき交通”等が減り、自動車交通の流れがよりスムーズになることが期待され、また、観光周遊の活性化を期待することができる。



## 4-2 実施内容

- 実施日：10月13日（土）から11月4日（日）のうち土・日・祝日の計8日間実施
- 「インター前駐車場」の開設時間 8:30 から 18:00 まで
- バス運行時間：（行き）彦根城方面 9:00 始発  
（帰り）「インター前駐車場」方面 16:20 最終便  
（イベント時 17:20 最終便）



実施日			
10 / 13 SAT	10 / 14 SUN	10 / 20* SAT	10 / 21* SUN
10 / 27 SAT	10 / 28 SUN	11 / 3* SAT	11 / 4 SUN

バス運行時間 / 9:00 ~ 帰りのバス発車時間は、各バス停の時刻表をご確認ください。

インター前駐車場ご利用時間 / 8:30 ~ 18:00

■ 通常時ルート ■ イベント時ルート

#### 4-3 社会実験の結果

##### ■利用者数・駐車台数

	平成 30 年度	平成 29 年度
延べ利用者数	1,422 人	1,275 人
最大日利用者数	621 人 (10 月 21 日 (日))	525 人 (11 月 3 日 (金・祝))
インター前駐車場 駐車台数 (日最大)	190 台 (10 月 21 日 (日)) 城周辺駐車場の駐車台数を加えた 全台数 925 台の約 20%に相当し ており、城周辺の交通混雑、道路混 雑の低減に寄与した。	171 台 (11 月 3 日 (金・祝)) 城周辺駐車場の駐車台数を加えた 全台数 1,049 台の約 20%に相当し ており、城周辺の交通混雑、道路混 雑の低減に寄与した。

表. 平成 30 年度社会実験の全体概要 (朱文字はイベント日)

	10/13 (土)	10/14 (日)	10/20 (土)	10/21 (日)	10/27 (土)	10/28 (日)	11/3 (土)	11/4 (日)
天気 (現地、各日確認)	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	雨
最高気温 (気象庁データ)	21℃	23℃	20℃	22℃	20℃	20℃	18℃	16℃
イベント	—	—	ご当地 キャラ博	ご当地 キャラ博	—	—	城まつり	—
インター前バス乗車数 (パーク・アンド・バス ライド利用者数) (下段:累計)	46 人 オープン グ (46 人)	34 人 (80 人)	356 人 (436 人)	621 人 (1,057 人)	28 人 (1,085 人)	62 人 (1,147 人)	256 人 (1,403 人)	19 人 (1,422 人)
インター前駐車場の 駐車台数 (計算値・時間最大)	8 台	8 台	118 台	190 台	11 台	19 台	84 台	9 台
インター前駐車場の 駐車台数(延べ台 数)	13 台	15 台	153 台	248 台	18 台	23 台	98 台	9 台

##### 平成 30 年度社会実験の全体概要

平成 30 年度社会実験で実施した計 8 日間の累計利用者数は、1,425 人となった。昨年度のプレ実験と比較し、天気にも恵まれ、イベント日(ご当地キャラ博、城まつり)は、多くの利用者がみられ、特に、ご当地キャラ博の 2 日目に当たる 10 月 21 日(日)は「インター前駐車場」でのバスの乗車数は 621 人と、昨年のピーク(城まつり 11 月 3 日(土)、525 人)を超える利用者となった。

一方、イベントのない日は、土日の休日にもかかわらず、19~62 人と利用の少ない結果となった。





■バス乗車客（インター前駐車場）



■満車の駐車場（インター前駐車場）



■バス降車客（インター前駐車場）

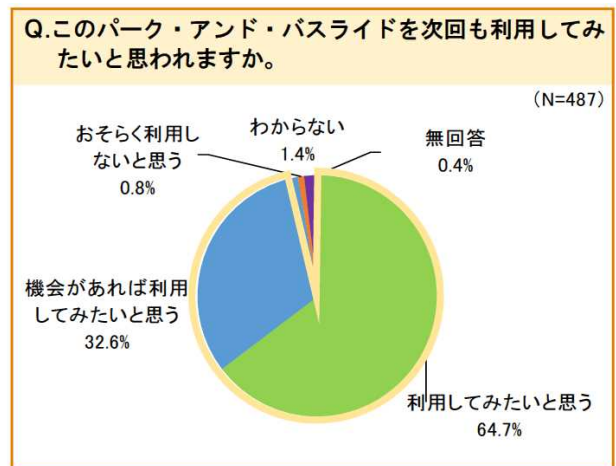
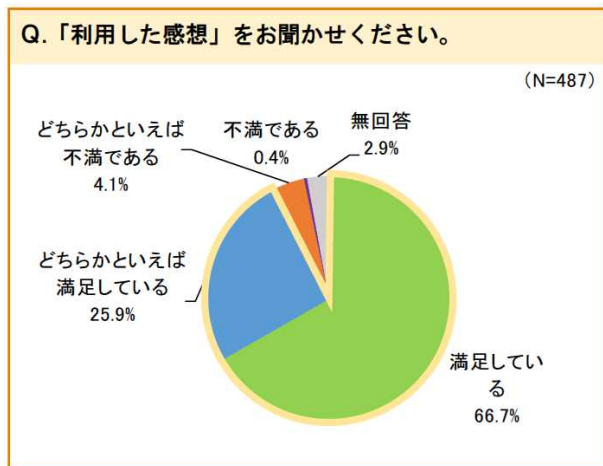


■観光周遊の乗車客（彦根市役所前）

#### 4-4 アンケート調査の結果

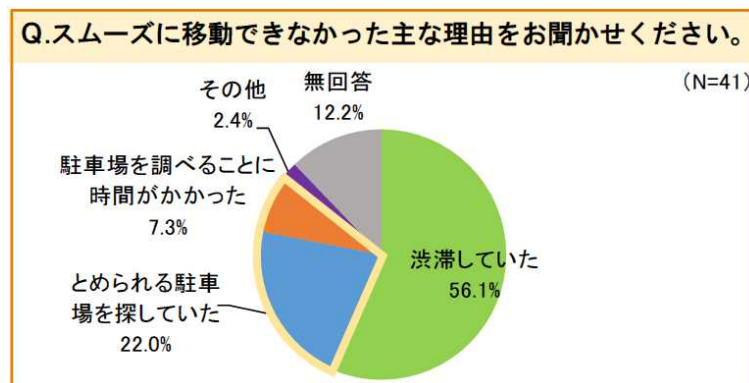
##### ■利用者の感想【パーク・アンド・バスライド利用者アンケート】

利用した方のほとんどが「満足」、「次回も利用してみたいと思う」と回答をいただいた。



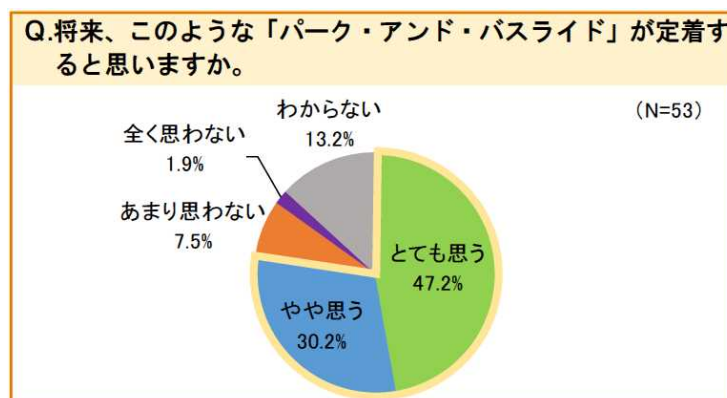
■城周辺駐車場に自家用車を停めた方の状況【一般駐車場利用者アンケート】

当パーク・アンド・バスライドを利用しなかった方（彦根城周辺の一般駐車場利用者）のうち、スムーズに移動できなかった理由は渋滞のほか、「駐車場を探していた」「駐車場を調べていた」ことにより時間がかかっていることがわかる。

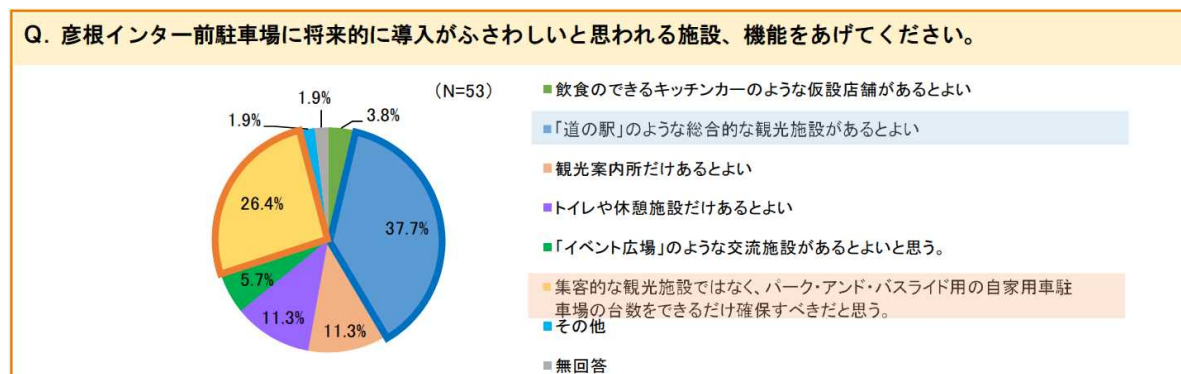


■近隣商店街事業者の印象【近隣商店街事業者アンケート】

近隣商店街事業者のほとんどの方が「当パーク・アンド・バスライドが定着すると良い」と回答している。



また、彦根インター前駐車場に、将来的に導入がふさわしいと思われる施設、機能として多くあげられたものは「総合的な観光施設」となっていますが、「パーク・アンド・バスライド用の自家用車駐車場」のように今回の社会実験の本来の機能をあげている方もみられた。





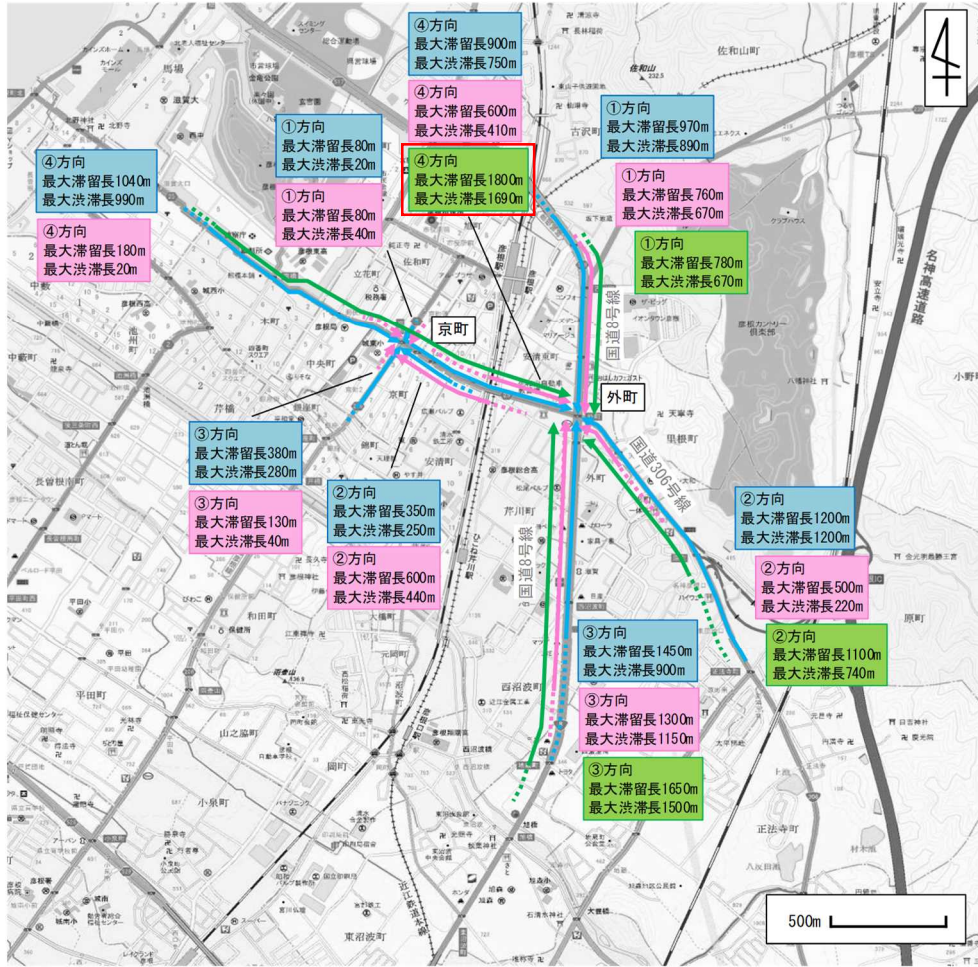
4-5 社会実験の効果（交通面）

■交通混雑の緩和

インター前駐車場の日最大駐車台数は10月21日（日）12時台の、190台であった。

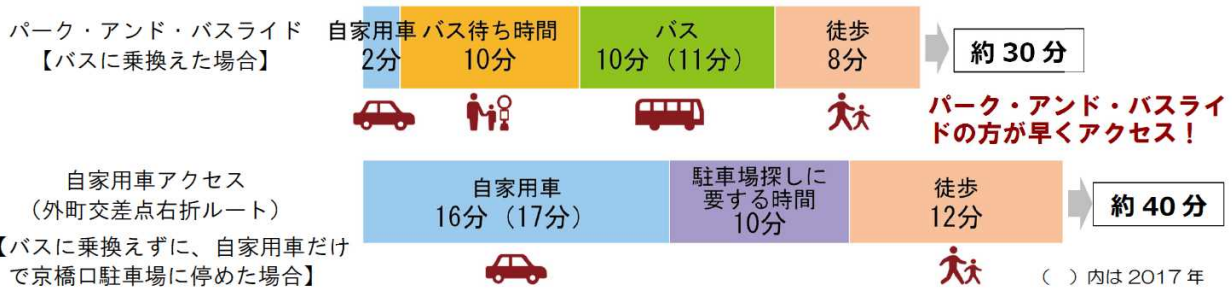
この台数は、城周辺駐車場の駐車台数を加えた全台数925台の約20%に相当しており、城周辺の交通混雑、道路混雑の低減に寄与したと思われる。

一方、外町交差点など主要な渋滞箇所では、混雑の緩和までにいたらなかった。（計画中のバイパス道路の整備は必要である。）



■彦根 I.C.～彦根城へのアクセス時間

条件にもよりますが、混雑時にパーク・アンド・バスライドを利用すれば10分ほど早くアクセスできる。



(彦根 I.C.を出た地点から彦根城表門橋の地点まで到達する所要時間を計測した平均値。バス待ち時間、駐車場探しに要する時間はバス時刻表、アンケート結果等より設定した)

■ CO2 の削減

彦根 I C～彦根城の往復の距離、約 7km を自家用車からバスに転換したことにより、1 年間に杉の木 60 本が吸収する CO2 量に相当する 800kg-CO2 (試算値) が削減され、2017 年と合わせると、杉の木 100 本が吸収する 1500kg-CO2 が削減されたことになる。



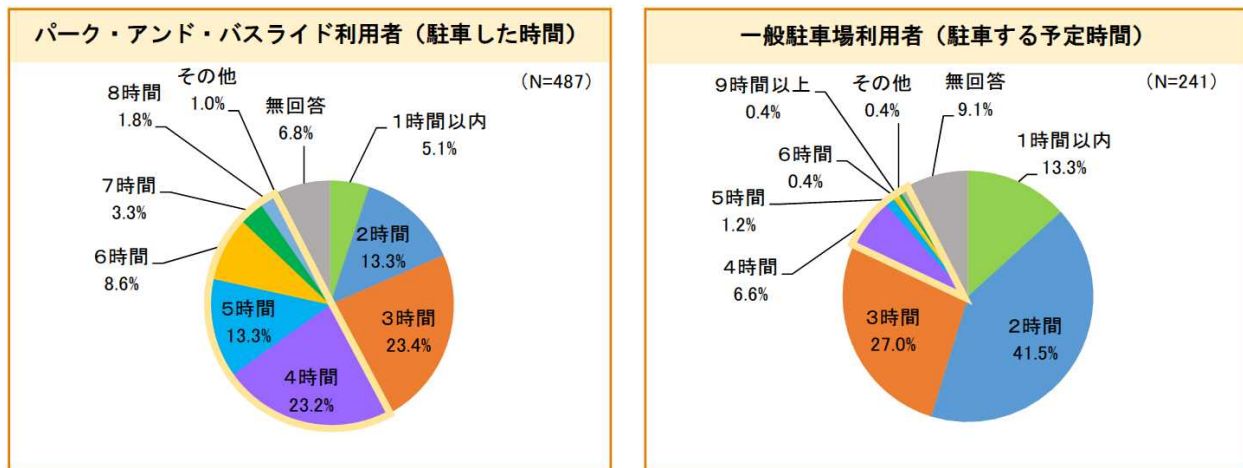
4-6 社会実験の効果 (観光面)

■利用者数 (入山者数に占める割合)

最大日利用者 621 人 (10 月 21 日 (日)) は、同日の入山者数 4,239 人の 15 %を占めており、社会実験のバス運行が観光面に貢献していることが把握できる。

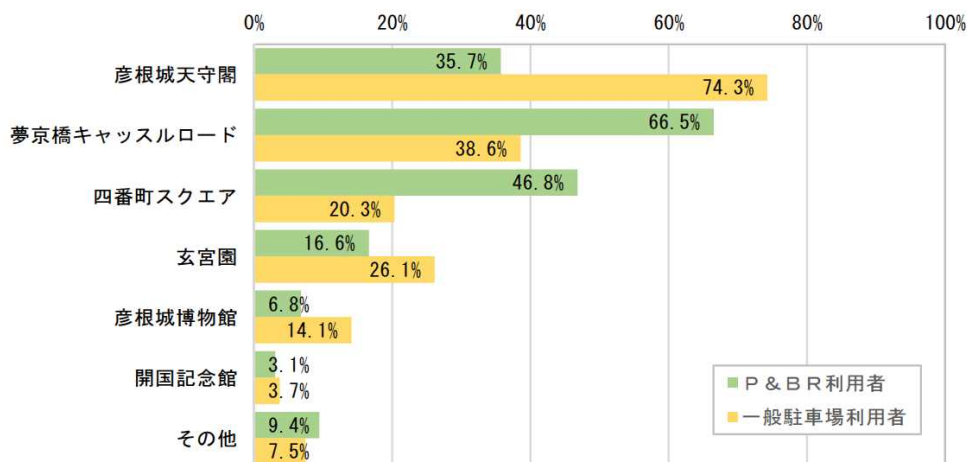
■ 駐車時間

パーク・アンド・バスライド利用者の方が、一般駐車場利用者より駐車時間が長くなっています。このことからパーク・アンド・バスライドを利用すると、滞在時間がより長くなる可能性があると考えられる。



■ 訪問場所

パーク・アンド・バスライド利用者のほうが、彦根城天守閣だけでなく、夢京橋キャッスルロードや四番町スクエアを訪問する割合が高くなっており、周遊効果があると考えられる。

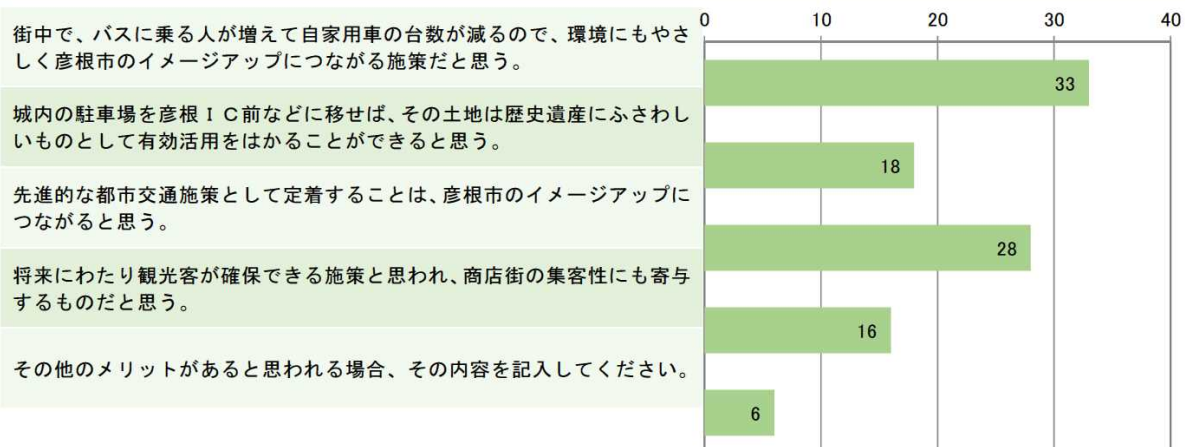




■観光のための有効な土地利用

近隣商店街事業者のパーク・アンド・バスライド実施のメリットとして考えられるものは、彦根市のイメージアップであり、土地の有効活用策として、城内の駐車場用地を歴史遺産にふさわしいものに活用するという回答も得られた。

Q.「パーク・アンド・バスライド」の実施により、どのようなメリットがあると思われますか。(複数回答3つまで)



【実施機関】彦根市

- 【協議機関】彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会
- 【協議会構成】学識（立命館大学・滋賀県立大学）／国土交通省（滋賀国道事務所・滋賀運輸支局）／滋賀県（湖東土木事務所）／彦根警察署／彦根商工会議所／彦根観光協会／NEXCO中日本／湖国バス(株)／彦根市
- 【事務局】彦根市役所 都市建設部都市計画課
- 【事務局支援】玉野総合コンサルタント
- 【協力】彦根ボランティアガイド協会

